

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	園の理念をリビングに掲げ、年度初めに理念に沿った目標を立て、日常のケアに活かし、年度末に評価をしている。朝礼で唱和し、理念の理解を深めれるよう努力している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティア、地域の保育園や子供会の方々の慰問が恒例となり、行事に組み込まれている。高校生の実習受け入れも行っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	来園された方々には、認知症の理解や支援方法を口頭で提供している。また、玄関に認知症のパンフレットを置き誰でも手に取って見れるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は利用者や家族、地域住民、役場職員等が参加し定期的開催されている。出された意見等を検討しケアの向上に繋げている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席して頂き、町担当者から園の入居状況など問い合わせ等があったり、更新時の手続き等の相談したり日頃から連絡を取り合っている。町主催のケア協議会等に参加している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会があり、年間の計画に数回の勉強会が組み込まれ、身体拘束をしないケアを心がけている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての勉強会を行い意見交換しながら、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、ある事は理解しているが学ぶ機会などはない。また、活用できる支援はまだない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所申し込みの際、本人や家族の思いや希望等を聞き取り、入所後も日々の言葉や表情などから利用者の意向を汲み取る様に努めている、ケア会議で個々の思いを検討している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見、要望は日常の会話の中から聞き取ったり、うまく表現が出来ない方は、日々の行動や表情などから察知し、利用者記録に記載し共有している。家族からは面会や支払い時等に利用者の状況・状態などを伝えとともに、意見・要望を伺っている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者、ケアマネジャーは朝礼や職員会議の際、意見や提案を聞き取っている。また、常に話し易い雰囲気作りに心がけ、日常のケアの中からも意見を聞く様に努めている。出された意見や提案はよく検討し、業務改善・ケアの向上に繋げている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の希望する休みの日程を勤務に組んでおり、それぞれの都合が通る様努めている。また、勤務年数が重なる度に基本給アップや有給休暇日数がアップしておりやりがいの持てる環境となっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	園内の勉強会で身体拘束や虐待の動画を見たり、講師を呼んでアグ्रेसン報告の研修を受けたりした。法人外ではインフルエンザの基礎知識を学び出席できなかった職員には資料に目を通してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	上記の研修会を重ね、同業者との交流する機会を設けた。意見交換などを通じて、サービスの質の向上について職員間で話し合い取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時や入所間もない段階で、1日のふれあいの中からご本人の思いを聴き取り、少しでも早く園の生活に慣れて頂き、職員との信頼関係を築ける様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申し込みの際、本人や家族の思いや希望等を聞き取り、入所後も日々の言葉や表情などから利用者の意向を汲み取る様に努めている、7ヶ月会議で個々の思いを検討している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の実情に応じ必要な支援は何かを見極めサービスの紹介を、例えば医療処置を必要としている場合は眼科や歯科、皮膚科などの紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の生活を営む為の掃除や洗濯物干しや畳み、茶碗洗いや調理など、共に暮らす者同士の関係が出来ている。一人一人の役割分担もあり自信と喜びに繋がっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族へ近況報告をかねた写真入りの手紙を毎月送ったり、行事への参加や電話の取次ぎなどを行い、共に本人を支えられる関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の趣味、経歴、馴染みの方などの情報は、入所前のアセスメントのより聞き取り、個人台帳に記録して職員間で共有している。家族の協力を得ながら本人の希望があれば自宅への一時帰宅・美容室利用・墓参りなどを可能な限り支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係が上手くいくような雰囲気作りや、テーブルの座席の工夫を行っており、隣の人の下膳の手伝いをしたり、お互い仲良く助け合っておられる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後であっても、お見舞いに行ったり、行事がある時はお誘いしたりし、関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所申し込みの際、本人や家族の思いや希望等を聞き取り、入所後も日々の言葉や表情などから利用者の意向を汲み取る様に努めている、ケア会議で個々の思いを検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、これまでの生活歴や状況をご本人やご家族・友人、知人等から聞き把握に努めている。また、病院や居宅事業所などからの情報を元に把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの1日（24時間）の記録を様々な角度から行っている。（1日の過ごし方の記録、健康管理面の記録など）職員は申し送りや記録を確認し把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当制を設け、利用者の現状を細かく把握し、月1回全職員でケア会議を行っている。本人や家族の思いや要望を十分汲み取り、主治医の意見、職員の意見など医療、生活面からみた計画書を作成している。また状況に変化が生じた場合は、随時計画を見直し、現状に即した計画となっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送り、業務日誌にて情報を共有し何に繋げている。日々の様子や変化など職員の気付きは記録し実践や介護計画にも反映させ必要時にはプランの見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人のニーズを尊重出来る様な支援、例えばご家族に電話をかけてお話をする機会を設けたり、自宅帰省の支援、遠方のご家族の要望でスマホを利用しご利用者様の近況動画送ったりしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員やボランティア、消防団、公民会、取引業者などの協力を頂き、その方々と連携し地域での生活が継続できるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、利用者・家族と話し合いの上決めており、現在全員の方が法人の医療機関になっている。母体病院が隣接しており、往診もあることから利用者・家族に喜ばれている。専門医の受診は家族対応を基本とし、職員が同行した際は、受診結果を支援経過記録に記載すると共に、家族に随時報告している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同一法人で病院に併設の施設の為、医療の協力体制があり、24時間相談する事が可能で協力も得ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は医療機関へ情報提供を行い、連携を図っている。また、早期退院に向けて情報提供を行い、必要時には迅速な相談や対応が出来るよう協力体制を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に事業所で出来る事等を入所時に説明した上で納得を頂いている。ご本人・ご家族の意向を尊重出来るよう話し合いを行い方針を共有している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な避難訓練の中で消防職員の立合いの下応急手当や初期対応の訓練を実施している。また、マニュアルを作成し職員間で共有し、緊急時にはマニュアルに沿った対応や病院の指示に沿った対応を行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の災害避難訓練を通して昼夜の避難指導や経路を確認、安全な避難方法を検討すると共に運営推進会議で地域の方への協力をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重やプライバシー等に関しては、研修の中で何度も触れ、職員は理解し、気を配って日頃のケアを行っている。ボランティア、実習生の方にも事前に個人情報やプライバシーに関して配慮する旨を伝えている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご本人の思いや希望を表せるよう声かけして自己決定出来るよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の訴ええを尊重し、寝たい方、テレビを見たい方、電話をかけたい方などの支援を行い、その方のペースに合わせながら1日を過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類等の買い物支援の際はその方の好みに合わせた物を購入している。その方が望む身だしなみやおしゃれが出来る様配慮している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	新鮮で安全な食材を使用する為、肉・魚・野菜は専門店から取り寄せている。自家菜園の野菜や家族からの差し入れもある。準備や片付けも利用者と一緒にやっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の健康状態を把握し、一日の栄養摂取や水分確保が出来るよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、義歯洗浄の声かけをし出来ない方は介助している。また立ってされるのが辛い方にな椅子を準備ししてもらっている。夜間は洗浄剤を使用し清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	数種類のパットを準備し、時間帯や状態によって使い分けている。また、ADLアップやポータブルトイレの利用などで、一人ひとりの排泄の自立に向けた支援をおこなっている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の一日の水分摂取量を把握し声かけしたり、毎日乳製品やヨーグルトを摂取して頂いている。また、運動も取り入れてスムーズな排便に向けて取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉を利用しての入浴で、週2～3回実施している。拒否傾向がみられる方には、無理強いせず声かけのタイミングを工夫して、気持ち良く入って頂く様に支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況を把握し、昼寝される方、されない方、自由にして頂いている。夜間は入眠時間前に声かけし安心して休んで頂ける様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院、薬局の指示のもと服薬の支援をしている。症状の変化が見られる時などはすぐ連絡を取り指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を活かした役割分担や趣味を継続出来る支援をしている。食材切り、塗り絵、洗濯物の処理、食器洗い、ゴミ袋折り、カレンダーめくり、散歩、テラスでのお茶など。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の体調に合わせた日光浴、散歩をしている。散歩が出来ない方は園庭に出て畑を眺めたり、テラスに出て外を眺めたりして頂いている。行事の中にも無理のない場所への外出を楽しんだり、外出が出来る方はご家族に相談し外出して頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の財布は所持していないが、一人ひとりの希望に応じ買い物支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話がかかってきた時や、電話の要望があった時は取り次ぎ会話出来るよう支援している。お手紙や年賀状が来た時はお渡しし、電話でお返事されている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは窓が大きく取られ明るく、テーブル設置部分と体操やクッションなどが出来るスペースがあり広々としている。洗濯物をたたんだり、場所々に椅子が置かれ、自由に過ごしている。季節に合った壁飾りを施し、和やかな雰囲気を出している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル配置の工夫、リビング・ダイニングの利用が自由に出来る様に配慮している。また、玄関や日当りの良い7㎡内に椅子を設置し、一人になれる場所を作っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は畳で広く、窓からの採光も十分に明るく、菜園や中庭が見渡せる。入り口は殆どがリビング側に面していて部屋にいても全体が見渡せ安心感がある。冬場は加湿器を個人で持ち込んで頂き、家族の協力を得ながら過ごし易い部屋作りを支援している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりをつけ安全に移動出来るよう配慮している。また、居室やトイレ・浴室等を分かり易く表示し混乱しない様配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない